La 103-a Japana Esperanto-Kongreso
en Oumihaĉiman
La 8-a, 9-a, 10-a de oktobro 2016

第 103 回
日本エスペラント大会
（滋賀県近江八幡市）

日　時：2016 年 10 月 8 日（土），9 日（日），10 日（月・祝日　体育の日）
会　場：（学法）ヴォーリズ学園　（〒523-0851 滋賀県近江八幡市市井町 177）
主　催：（一財）日本エスペラント協会，近江エスペラント会
協　力：（一社）関西エスペラント連盟
後　援（申請中を含む）：日本ユネスコ国内委員会，滋賀県，近江八幡市，滋賀県教育委員会，近江八幡市教育委員会，（独法）国際交流基金，（公社）日本ユネスコ協会連盟，（一社）日本ペンクラブ，（学法）ヴォーリズ学園，（公財)滋賀県国際協会，彦根ユネスコ協会，ＮＨＫ大津放送局，朝日新聞大津総局，毎日新聞大津支局，中日新聞社，京都新聞，ＢＢＣびわ湖放送，株式会社 ZTV 近江八幡支局，日本エスペラント通信社

大会テーマ：　Lago Biŭa, Homo, Harmonio　琵琶湖，人，調和

滋賀県では初めてとなる日本エスペラント大会の開催地・近江八幡は，近江商人と水郷で知られ，織田信長の安土(あづち)城跡も市域に含まれます。また，会場のヴォーリズ学園は，建築家として有名なウィリアム・メレル・ヴォーリズらが創設した由緒ある学校です。

滋賀県のシンボルである琵琶湖では，早くから環境の悪化が問題となってきました。日本の高度経済成長に伴って，水質汚濁と富栄養化が進んだ琵琶湖ですが，様々な市民運動や行政の取り組みによって，さらなる悪化を食い止めようとしています。大自然の一部に過ぎない人間の活動が，多種多様な生物を含んだ自然環境に対して，大きな影響を及ぼす存在となってきた今，人間は自然との調和を心がけなければなりません。

一方，私たち人間の社会は，多種多様な文化・民族・言語で構成されています。それに関し，「国際エスペラント運動に関するプラハ宣言」(1996 年)では，エスペラントの運動は，言語上の権利，言語の多様性，人間の解放を目指すものだとしています。これはまさに，言葉によって，人の心を，そして社会の調和を図るものだと言えましょう。

私たちは今回の大会のテーマを Lago Biŭa, Homo, Harmonio （琵琶湖，人，調和）としました。人間が自然に対して敬意を払いつつ，自然と調和のもとに生きている，生かされていることに思いを致したいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 103 回日本エスペラント大会実行委員長　　大西真一

〔連絡先〕
・日本エスペラント大会事務局
〒162-0042 東京都新宿区早稲田町12-3　一般財団法人日本エスペラント協会内
メール： jek2016@jei.or.jp　（お問い合わせは主にメールで）
TEL：03-3203-4581　FAX：03-3203-4582
ホームページ： http://www.jei.or.jp/evento/2016/jek/
・**参加申込み**は，［郵便振替 00100-4-400372　日本エスペラント大会］へ。
「振替」到着後，　２週間をめどに領収書(はがき)をお送りします。

〔主なプログラム(予定)〕

10月 8日(土)　受付/13:30～，分科会等/14:30～，親睦の夕べ/17:50～
10月 9日(日)　開会式/9:15～，分科会/10:40～，公開番組/13:30～，懇親会/18:30～
10月10日(月祝)　分科会等/9:15～，　閉会式/11:00～，　大会後観光/13:00～

〔公開講演・コンサート〕

・鼎　談(ていだん)　テーマ「琵琶湖から世界へ」

講師は滋賀県立大学の井手慎司・高橋卓也両教授とNPO法人「碧い(あおい)びわ湖」代表　村上悟氏。大会記念品とも連動した企画で，環境の専門家３人に，琵琶湖の環境と水資源問題を中心に，世界との関わりを含めて話をしていただきます。

・野田淳子さん・レイクリード（琵琶湖よし笛）ジョイントコンサート　菊井了さん（よし笛考案者・奏者），近藤ゆみ子さん（よし笛・ピアノ奏者）。琵琶湖のほとり西の湖に生えるヨシを素材として，1998年に世界で初めて菊井了氏が 考案・創作された《琵琶湖**よし笛**》は，すばらしい“自然からの贈り物”。野田淳子さんとの共演をお楽しみください。

・「日本をこよなく愛した異国人　～ガントレットとヴォーリズの場合～」（仮題）
講師：芹野与幸氏（一粒社ヴォーリズ建築設計事務所ヴォーリズ資料広報室長）

・Georgo Handzlik 氏(ポーランド)　エスペラント講演(通訳付き)

〔大会記念品〕

「ダイナミックレイク 琵琶湖から世界へ」（山口隆雄著）のエスペラント版。

フルカラーで出版予定。著者は、琵琶湖を水の問題の象徴ととらえ，中国，ロシア，アメリカ，インドなどの具体例も挙げて，世界において水の問題が緊急の最も重要な解決課題であることを訴えています。国連の 2030 年へ向けた行動目標の一つとして，きれいな水の確保が挙げられ，ユネスコと連携関係にある世界エスペラント協会もこの行動目標の達成のためにエスペラントでの貢献を訴えています。グループで翻訳に取り組んでいます。

〔大会会場〕

ヴォーリズ学園　〒523-0851 滋賀県近江八幡市市井町177

東海道新幹線からJR近江八幡駅まで

米原からJR琵琶湖線で約20分(新快速)
京都からJR琵琶湖線で約35分(新快速)

JR近江八幡駅(北口)から会場まで

近江バス：６番乗り場
「長命寺」，「休暇村」，「学園前」行き，
または「市内循環」に乗車，
「ヴォーリズ学園前」（約８分，260円）
下車すぐ。

タクシー：約６分（約3.0km)。

車で会場まで

名神高速道路「竜王IC」から約20分。

◆大会参加費など　（単位は円）

	参加費　期限→	3月末	7月末	8月～	備考（〇印　記念品・報告書あり）
①	一般	5,000	6,000	7,000	〇
②	障害者	3,000			〇
③	家族	2,000	3,000	4,000	記念品希望者は①でお申込みください
④	青年・留学生	2,000	3,000		〇（**青年**は2016年内に30歳になる人まで。**生年月日を記入!**）（**留学生**は，日本に留学中の外国籍の人）
⑤	青年・留学生		2,000		
⑥	中学・高校生	1,000	1,500		単独参加者の場合は〇あり
⑦	小学生以下	無料			
⑧	外国から	2,000			〇 高校生以下は⑥,⑦でお申込みください
⑨	不在参加	3,000			〇 実参加へ切替の際は申込日の額との差額を追加で。
⑩	記念写真	1,000			最終日にお渡します。各自お持ち帰りください。
⑪	昼食Ⅰ　9日(日)	1,000			ペットボトルのお茶１本を含みます。 近くに食堂が少ないので弁当をお勧めします。 大会後観光参加の方は昼食Ⅱの申込は不要です。
⑫	昼食Ⅱ　10日(月)	1,000			
⑬	懇親会　9日(日)	6,000			会場：グリーンホテル Yes 近江八幡
⑭	大会後観光	16,500			彦根城観覧（1泊2日の宿泊費，10日の昼食を含む）
⑮	JEI学力検定試験	１級 5,000 / ２級 3,000 / ３級 2,000 / ４級 1,000			

◆取消し条件　①–⑨，⑮の参加費は原則としてお返しできません。
⑩–⑭の費用は，９月末までに限り，返金手数料 500 円を控除し返金します。

〔宿泊〕

ホテルの斡旋はいたしません。観光シーズンなので早めの予約をお勧めします。近江八幡市近辺の主なホテル(市外局番はすべて 0748)：ホテルニューオウミ(36-6666)，ベストイン近江八幡(36-0001)，ホテルはちまん(33-1771)，第一ホテル(32-2003)，近江八幡ステーションホテル(37-3801)，休暇村近江八幡キャンプ場(32-3138)，近江八幡ユースホステル(32-2938)，ビジネスホテル西ノ庄(34-7577)，ビジネスホテルシェル(37-8451)，いこい旅館(37-6200)，宿院妙覚院(32-3463)，JR 能登川駅前（近江八幡まで快速８分）アズイン東近江能登川駅前(42-5588)

〔大会後観光〕

10 日午後から１泊２日で，国宝彦根城，彦根城博物館などをめぐる旅行を予定しています(定員 50 人の予定)。宿泊は琵琶湖畔の「彦根ビューホテル」(電話：0749-26-1111)で，部屋はツイン(１室２名)限定，夕食（飲み放題），朝食付きです。翌日朝 9:40 からほぼ１時間おきに，ホテルから JR 彦根駅行きの無料シャトルバスがあります。代金には 10 日の昼食を含みますので、この申し込みは不要です。

〔大会前観光〕

ＪＲ近江八幡駅北口観光案内所前　10月8日10:30集合　事前申込要(9月末日締切)　費用は当日払

記号	コ　ー　ス	概　　要	費用(予定)
A	水郷巡り	群生するヨシの中を手こぎ船でゆったりと	1650円
B	八幡山(はちまんやま)散策	山頂から琵琶湖，旧城下町の大パノラマを	1200円
C	安土(あづち)城考古博物館・信長の館	信長に関する資料と原寸大に復元された安土城天主部や内部障壁画が見られます	1600円
D	ヴォーリズ建築巡り	市内に現存するヴォーリズ建築を訪ねます	320円

La 103-a Japana Esperanto-Kongreso en Oumihaĉiman

Dato: la 8-a, 9-a, 10-a de **oktobro 2016**

Kongresejo: Lerneja tereno de Vories Gakuen en la urbo Oumihaĉiman
8 minutojn aŭtobuse de la stacidomo Ōmi-hachiman

Kongresa Temo: ***"Lago Biŭa, Homo, Harmonio"***

Tiu ĉi kongreso okazos unuafoje en Gubernio Ŝiga, malgraŭ tio ke en 1965 la 21-a IJK okazis en Ŝiga. Simbolo de Ŝiga estas Lago Biŭa, kiu estas la plej granda en Japanio kaj trie malnova en la mondo ("De Dinamika Lago Biŭa al la momdo"). Ĉirkaŭ la lago troviĝas tre belaj lokoj, bonvolu do ĝui la pejzaĝon en tiu ĉi ŝanco. La kongresejo Vories Gakuen estas fondita en 1932, i.a. de s-ro W.M.Vories, kiu desegnis multajn konstruaĵojn, kiuj donas al ni unikan varman etoson.

Ĉefaj programeroj (provizoraj)

La 8-an de oktobro (sabate)

Akceptejo: ekde 13:30

Posttagmeze: Fakkunsidoj (ekde 14:30)

Vespere: Amika vespero (prezentantoj atendataj) (ekde 17:50)

La 9-an de oktobro (dimanĉe)

Antaŭtagmeze: Inaŭguro (ekde 9:15), Fakkunsidoj k.s. (ekde 10:40)

Posttagmeze: Publika prelego japane kaj muziko (ekde 13:30), Fakkunsidoj k.s.

Vespere: Komuna bankedo (ekde 18:30, ĉe Hotelo)

La 10-an de oktobro (lunde)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj (ekde 9:15), Solena fermo (ekde 11:00)

Post la kongreso: Ekskurso al la kastelo Hikone (ekveturo 13:00, vidu sube)

Memoraĵoj: Libro "De Dinamika Lago Biŭa al la mondo" esperantigita el la japana, estas ĉiupaĝe kolora. La aŭtoro skribas, ke akva problemo estas la plej urĝa temo en la mondo.

Kotizoj: Partopreno el ekster Japanio 2 000 enoj (por plenaĝulo)
Loĝanto plenaĝula en Japanio: 6 000 enoj (ĝis la 31a de julio 2016)
7 000 enoj (post la 1a de aŭgusto)

Pri ceteraj kotizoj (handikapulo, junulo, lernanto, alilanda studanto, morala partopreno, ktp) demandu al Japana Esperanto-Instituto (vidu informon malsupran piednotan).

Loĝado: Petu rete al JEI, Listo de proksimaj hoteloj prezentota

Postkongreso (la 10-an kaj 11-an de oktobro, lunde kaj marde) **:** 16 500 enoj

Foto: 1 000 enoj, **Komuna bankedo:** 6 000 enoj

Lunĉo (japan-stila bentoo) (la 9-an kaj 10-an de oktobro) **:** 1000 enoj potage

---

Pri detalaj informoj havu kontakton kun Japana Esperanto-Instituto
/ JP-162-0042 Tôkyô-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3
retadreso: jek2016@jei.or.jp, telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582,
retejo: http://www.jei.or.jp/evento/2016/jek/eo.htm